

4 和田古墳群(わだこふんぐん)

6世紀中頃から7世紀の初めにかけて造られた9基の円墳からなる後期群集墳です。主体部の構造や豊富な馬具などの副葬品から渡来氏族との深いかわりを示す興味深い後期群集墳です。出土した遺物は、隣接する栗東市出土文化財センターで保管されています。

5 地山古墳(じやまこふん)

大型の円墳と考えられていましたが、1990年の圃場整備事業に伴う発掘調査により、墳長90m周濠を含めると全長120m程の前方後円墳であることが判明しました。出土した埴輪より、5世紀前半に造られた首長墓と考えられています。墳丘規模や形態など椿山古墳と類似点が多く首長墓の系譜を考えるのに注目される古墳となりました。

6 下戸山古墳(しもとやまこふん)

現在の共同墓地の中に直径52m程の円墳として残っていますが、前方部を失った70~80m程の前方後円墳の可能性も考えられています。埴輪や土器が見つかり、4世紀後半頃に造られた首長墓とされています。

7 小槻大社古墳群(おつきたいしゃこふんぐん)

小槻大社を中心に14基程の古墳が点在しています。最大規模の1号墳は、小槻大社の境内にあり、直径25mの規模を測ります。調査された10号墳は、5世紀後半から6世紀頃とやや古いもののそれ以外は、6世紀から7世紀頃の後期群集墳と考えられています。

渡来系の古墳

新開古墳群(しんがいてふんぐん)

和田古墳群(わだこふんぐん)

小槻大社古墳群(おつきたいしゃこふんぐん)

これらの古墳は、その石室や副葬品から、たいへん渡来人とかかわりのある人々の古墳と考えられています。それは、渡来系の高度な技術を用いた構造の石室や入手の難しい貴重な材料が惜しみなく使用された馬具などの豊富な副葬品で、この地で尽力した1世や2世達の活躍を物語るのではないのでしょうか。



栗東市出土文化財センター(和田古墳公園)

〒520-3011 滋賀県栗東市下戸山47番地

TEL.077-553-3359 FAX.077-553-3514

メールアドレス r-shutudo@ex.biwa.ne.jp

ホームページ <http://www.ex.biwa.ne.jp/~r-shutudo/>

定期休館日:土・日曜日および国民の祝日

発行 栗東市教育委員会
栗東市出土文化財センター
財団法人 栗東市文化体育振興事業団

滋賀県 栗東市 遺跡めぐりマップ vol.1

栗東市の古墳 I

安養寺・岡・下戸山地区



地山古墳現地説明会



1 椿山古墳(つばきやまこふん)

墳長99mを測る前方後円墳で、周濠を含めると全長135m程となります。帆立貝形では滋賀県下最大の規模です。前方部の削平時に鉄刀や甲冑などが見つかり、5世紀中頃の首長墓と考えられています。

2 大塚越古墳(おおつかごしこふん:消滅)

栗東中学校の南東側に、かつて70~90m級の前方後円墳がありました。昭和初期の採土工事のため消滅しましたが、後円部の粘土槨と見られる主体部から、銅鏡・短甲・鉄刀のほか玉類など豊富な副葬品が出土しています。下戸山古墳に続く5世紀前半の首長墓と考えられています。

3 新開古墳群(しんがいてふんぐん:消滅)

名神高速道路建設に伴って発見された5世紀中頃の古墳群で、1号墳から豊富な鉄製品を初め甲冑や馬具などのたくさんの副葬品が出土しました。とくに馬具は、朝鮮半島とのかかわりの強い初期のものが出土しています。新開4号墳の船形埴輪は外洋を行き来した準構造船を模したもので注目されます。

栗東市の古墳I(安養寺・岡・下戸山地区)で、ご案内している古墳の特徴といえば、キーワードは「首長墓」と「渡来系」です。

首長墓の系譜

4世紀後半:下戸山古墳 墳丘長 70~80m

5世紀前半:地山古墳 墳丘長 90m

5世紀前半:大塚越古墳 墳丘長 70~90m

5世紀中頃:椿山古墳 墳丘長 99m

これらの首長墓は、金勝川を挟んで南北で対峙する様相から、2世代で権力の交代があったのかも知れません。ただ、系譜が移動しても、100m級の帆立貝式の墳丘は、この地の首長に与えられた墳形であったようです。そしてそれは、権力の交代があっても、安定した統治がなされていた地域であったことの証といえそうです。

栗東歴史民俗博物館

栗東の歴史・民俗にかかわる全般的なものを展示。考古部門では、岡山古墳と亀塚古墳の三角縁神獣鏡や新開4号墳の船形埴輪が見る。

●電話…077-554-2733

●料金…無料 ●休館…月曜・祝日の場合翌日

<http://www2.city.ritto.shiga.jp/hakubutsukan>



見学・観察のポイント

4 和田古墳群(わだこふんぐん)

5号墳の石室は、発見された石材をそのまま利用して、下半分を元通りに戻して復元されています。また、1号墳・10号墳では、お祭りに使われた土器がレプリカで復元しています。撮影のときははずさないように。もちろん、栗東市出土文化財センターで展示されている副葬品も要チェックです。(常時の展示休止のため予約が必要です)



和田古墳群

見学・観察のポイント

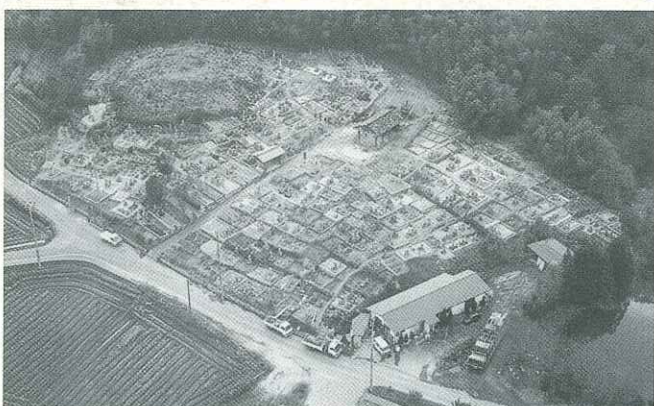
5 地山古墳(じやまこふん)

現在では後円部だけで円墳のようにみえますが、二段築成の1段目はそのまま周濠の中に埋まっています。実は墳丘のほとんどは壊れずに保存されていることになりますね。

見学・観察のポイント

6 下戸山古墳(しもとやまこふん)

丘陵上に位置することから、墳丘裾部ははっきりしません。地山古墳と同じで円墳のようにみえます。でも、墳丘上を自由に観察できる古墳でもあります。70~80m程の前方後円墳と考えられている古墳を体感してください。墳頂からは遠く比良・比叡山系を望むことができます。



下戸山古墳

見学・観察のポイント

7 小槻大社古墳群(おつきたいしゃこふんぐん)

大小14基の古墳が点在していますが、最大規模の1号墳は、小槻大社の境内のなかでも群を抜く大きさで、群集墳のなかでの中心墳であることがよくわかります。もちろん、1号墳以外でもすぐに見分けることができます。管理の行き届いた境内ならではの。

コース概要(80m1分で積算・見学時間は含まれません)

●基本コース(約1時間30分・約7.6km)

JR手原駅→12分→椿山古墳→3分→大塚越古墳→4分→新開古墳群→6分→和田古墳群(栗東市出土文化財センター)→16分→地山古墳→11分→下戸山古墳→8分→小槻大社古墳群(小槻大社)→13分→栗東市出土文化財センター→25分→JR手原駅

●寄り道コース(約2時間・約9.2キロ)

基本コースの帰路の和田古墳群(栗東市出土文化財センター)までは同じです。ここからJR手原駅には帰らず、新開古墳群から高速道路側道沿いに東へちょっと寄り道をしましょう。

和田古墳群(栗東市出土文化財センター)→11分→東方山安養寺→12分→栗東歴史民俗博物館→22分→JR手原駅



古墳めぐりマップ

JR手原駅 出土文化財センター
約2km 徒歩25分

● 古墳 ● 古墳跡

おつきたいしゃ
小槻大社

平安時代の延喜式に記載された式内社で、小槻氏(平安時代から明治まで太政官の事務局を務める)の祖神である於知別命を祀る社。重要文化財である本殿は、室町時代に再建されたもの。毎年5月5日に繰り広げられる花笠踊りは一見の価値あり。



どうほうざんあんようじ
東方山安養寺

将軍足利義尚ゆかりの寺で、鎌倉時代の花崗岩製十三重塔(国指定)と近江八景をかたどった庭園(県指定名勝)が見所。

● 見学…事前申込み必要 ● 電話…077-552-0082



見学・観察のポイント

1 椿山古墳(つばきやまこふん)

さすがに墳長100m級の前方後円墳です。滋賀県下最大規模の帆立貝形古墳となると、正直いって、墳丘の周りにある周濠も含めなかなかその全形はつかめません。そこで意外な撮影・観察スポットなのが、古墳の北側にある栗東市役所の立体駐車場です。



見学・観察のポイント

2 大塚越古墳(おおつかごしこふん:消滅)

周辺より少し高いというのですが、やっぱり現状ではそう簡単にはイメージできません。丘陵裾部に立地する70~90m級の前方後円墳が消滅した事実を痛感します。

見学・観察のポイント

3 新開古墳群(しんかいこふんぐん:消滅)

1号墳から甲冑や馬具などの副葬品の複製品や4号墳の船形埴輪など、栗東歴史民俗博物館で展示しております。ぜひ、足を伸ばして博物館にもお立ち寄りください。



新開3号墳